事例番号:280247

原因分析報告書要約版

産 科 医 療 補 償 制 度 原因分析委員会第一部会

1. 事例の概要

1) **妊産婦等に関する情報** 初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠39週1日 PIH(妊娠高血圧症候群)のため紹介され当該分娩機関を受診 16:20 妊娠高血圧腎症のため入院

4) 分娩経過

妊娠 39 週 1 日

19:04 血圧上昇を認め帝王切開にて児を娩出

- 5) 新生児期の経過
- (1) 在胎週数:39 週 1 日
- (2) 出生時体重:2898g
- (3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.22、PCO₂ 52mmHg、PO₂ 9mmHg、HCO₃⁻ 20.5mmo1/L、BE -7.7mmo1/L
- (4) アプガースコア:生後1分8点、生後5分9点
- (5) 新生児蘇生: 実施せず
- (6) 診断等:

生後2日 低血糖症状(活気不良、哺乳力低下、無呼吸発作、チアノーゼ)を認める、当該分娩機関小児科病棟入院

生後3日 新生児低血糖症、新生児低血糖性脳症と診断

(7) 頭部画像所見:

生後7日 頭部 MRI で新生児低血糖性脳症(拡散強調画像で両側後頭部白質に高信号領域を認める)として矛盾しない所見である

6) 診療体制等に関する情報

〈紹介元分娩機関〉

- (1) 診療区分:診療所
- (2) 関わった医療スタッフの数

医師:產科医1名

看護スタッフ:記載なく不明

〈当該分娩機関〉

- (1) 診療区分:病院
- (2) 関わった医療スタッフの数

医師:產科医4名

看護スタッフ:助産師3名、看護師1名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、新生児低血糖症であると考える。
- (2) 新生児低血糖症の原因は、高インスリン血性低血糖の可能性が高い。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 紹介元分娩機関において、妊娠39週1日に妊娠高血圧症候群のため当該分娩機関へ紹介したことは適確である。
- (2) 妊娠39週1日に当該分娩機関を受診した際の対応(血圧測定、内診、超音波断層法、血液検査、尿検査、分娩監視装置装着)は適確である。
- (3) 当該分娩機関において、妊娠高血圧腎症の診断で入院としたこと、および 分娩誘発を行う方針としたことは一般的である。
- (4) 入院後血圧上昇を認めており、帝王切開術を選択したことは一般的である。

- (5) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。
- (6) 胎盤病理組織学検査を行ったことは適確である。

3) 新生児経過

- (1) 出生時の管理は一般的である。
- (2) 生後 2 日の 20 時以降、児の状態が不良となってからの対応(経皮的動脈血酸素飽和度測定器装着、医師へ報告、酸素投与、小児科病棟へ入院としたこと)は一般的である。
- (3) 小児科病棟入院後の動脈血ガス分析にて血糖 3mg/dL と低血糖を認めた状態で、治療開始後、約13時間血糖値の測定の有無が診療録に記載のないことは一般的でない。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

- 1) 紹介元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき 事項
 - (1) 紹介元分娩機関なし。

(2) 当該分娩機関

- ア. 新生児に全身状態が不良(not doing well)の場合には、適切な検査、処置が行われるよう管理指針を院内で再検討することが望まれる。
 - 【解説】本事例は、生後2日に not doing well 症状(活気不良、哺乳力低下)を認めている。「産婦人科診療が小*ライン-産科編 2014」では、低血糖症は脳障害を引き起こす可能性が指摘されており、何となく元気がない、哺乳が悪い等ある場合には低血糖も想定して血糖測定をすることが推奨されている。
- イ. 児に低血糖を認めた場合、適切な治療を行うために随時血糖測定を行う とともにその結果を診療録に記載することが望まれる。
- 2) 紹介元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討 すべき事項
 - (1) 紹介元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

事例検討を行うことが望まれる。

【解説】児に重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の 改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

新生児低血糖による脳障害についての実態調査および、血糖値の測定基準 や低血糖を疑う症状があるときの対応などについてガイドラインの策定が望まれる。

(2) 国:地方自治体に対して

なし。